

## 奥多摩 日蔭名栗峰 山行報告

【行動日】 2020. 2. 11 (火) 日帰り

【参加者】 CL 柘植 (記録)、吉川

【行程】 峰谷橋 7:00 - 日蔭名栗峰南尾根取付き 8:20 - (南尾根登山) 稜線下の巻道登山道  
10:20 - 日蔭名栗峰 10:40 - 高丸山 11:25 - 千本ツツジ 11:50 - (赤指尾根下降)  
14:50 峰谷橋



ルート概念図

日蔭名栗峰は奥多摩石尾根の鷹巣山の西側の山。単独で目指す登山者はまれだが北側と南側にはマイナールートがいくつかあり、その手のルートの愛好者には魅力的な山ではある。今回は南側の尾根を登ってみようと考えたが、入り口の峰谷集落はきわめて交通不便。よってクルマでのアプローチとなるが、峰谷集落には駐車場がない(NET 情報でもなし)ということで、奥多摩湖畔の峰谷橋脇の公共駐車場狙いで土気を早朝 3:50 に出発した。狙いの峰谷橋脇駐車場には 6:45 に到着したがすでに駐車場はいっぱいだったが、釣り人からすぐ近くの空き地を教えてもらいなんとかクルマを収めて出発できた。

日蔭名栗峰南尾根の末端はボウズ谷とモクボ谷の出合のところだが、そこは崖となっているので、林道をしばらく歩き、枝林道が南尾根末端上を回り込むところからスタートする。南尾根はとくに踏みあともないが、やぶもなく登山に支障はない。ただ最初から最後までものすごく急で息がきれた。南面の尾根のため雪もなく、ほぼ自然林なので上部ではすばらしい展望を味わえる。取付きと終点の日蔭名栗峰の標高差は 900m あるが、2 時間強で登ってしまった。山頂からは付近の山や富士山はもちろん、遠く南アルプスの白銀の連なりが美しい。



南尾根末端近くの取付き地点



ヤブのない快適な登行



急登を頑張る



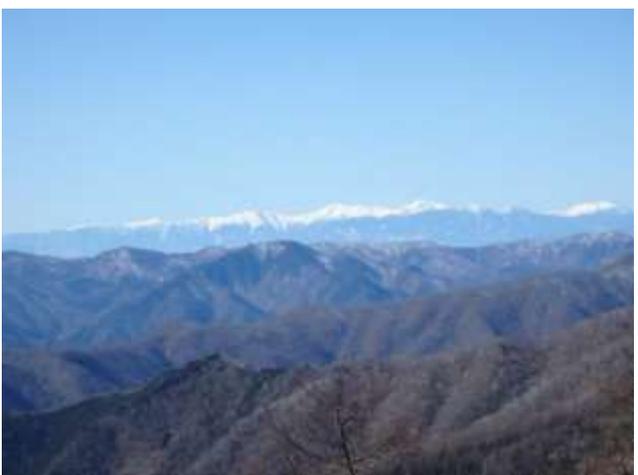
稜線直下の巻き道に出る



稜線に出たら日蔭名栗峰の山頂を目指す



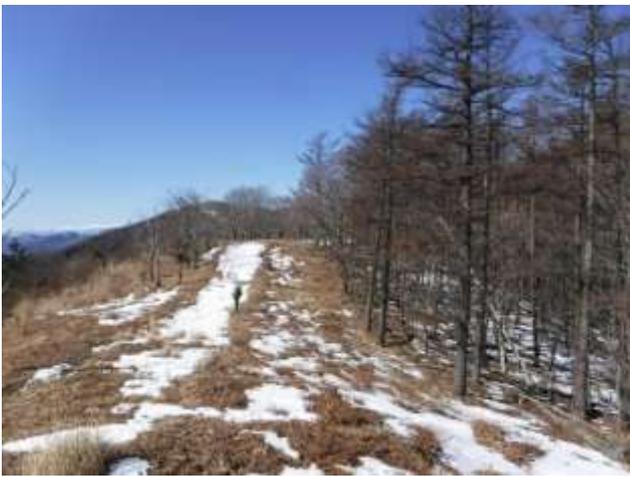
日蔭名栗峰の山頂



南アルプス連峰



富士山



広い防火帯を行く



高丸山の山頂

下山は赤差尾根を考えていたので日蔭名栗峰から石尾根を西に進む。稜線上には雪があるがアイゼンをつけるほどではない。このあたりは幅広い防火帯になっており、木がないため足元が融けかけた雪と土のミックスで登りにくい。景色は抜群だ。千本ツツジというところから赤差尾根に入る。ここからは赤線の一般ルートなのでグングン飛ばして、途中一回の休憩だけで峰谷橋脇の駐車場まで歩いてしまった。

快晴の一日、充実したバリエーションハイキングでした。

記録： 柘植秀樹